



国立障害者リハビリテーションセンター病院
看護師募集案内



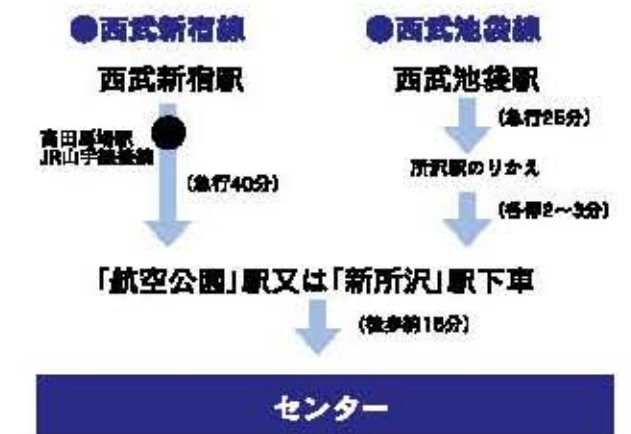
所沢駅から新宿・池袋、渋谷、横浜元町・中華街へのアクセスもよく、休日にはお出かけも楽しみです。



案内図



交通案内



病院見学は個別に対応いたします。
見学をご希望の方はご連絡ください。

● 連絡先
国立障害者リハビリテーションセンター病院
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
TEL:04-2995-3100 (代表)
医事管理課もしくは看護部まで

平成26年から新病院に移転しました。新しい病院で一緒に働いてみませんか？



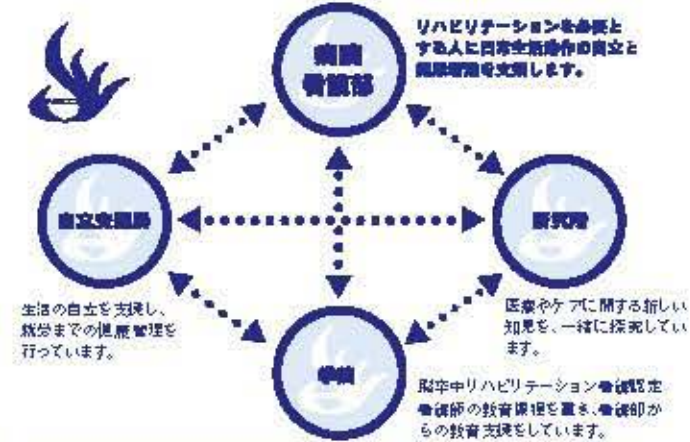
●病院

看護部基本方針

ケア対象者に対して質の高いケアを提供するために、まず自ら研鑽し、一専門職業人としての素養を高めるよう努力する。自らの素養を高めることで、チーム全体の中での看護職としての役割を認識し、職場の人々との絆や繋がりを深める。

ともに働く人々とともに組織の課題を見出し、国リハ看護師としての道標をつかみ、改善・改革の方向を定めて踏み出す。

看護部とのつながり



診療科について
内科・神経科・整形外科・リハビリテーション科・耳鼻咽喉科・眼科・泌尿器科・精神科・児童精神科・資料があり、特設科として盲点検診科・資料科・健康増進スポーツ科・障害者人間ドック等があります。

研修科目について
理学療法、作業療法、言語聴覚療法、ロビゾン訓練、臨床心理、基礎救急療法、リハビリテーション体育の各訓練科があります。



看護部長 粟生田 友子
「国リハ」で、リハビリテーション看護を広く探究し、活気あふれる臨床の場と一緒に構築していきましょう!!
新しい力を募集しています。



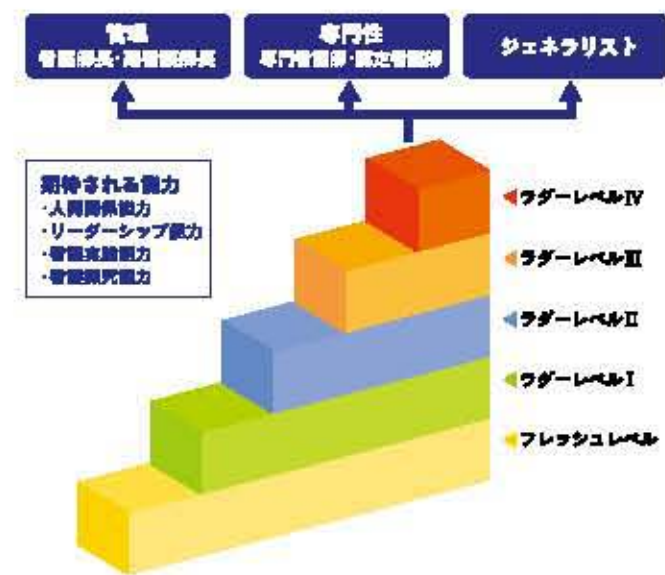
を図ることにあります。患者様やご家族に寄り添いながら、その人にあったリハビリテーション看護を提供すること、そして、質の高いケアを提供するために、自ら研鑽し、一専門職業人としての素養を高めるよう努力していける人材を育てたいと考えます。

めざすところ

看護部がめざすのは、患者様ひとりひとりに向けた丁寧な看護。個別性や障害特性を考え、人と人としてのかかわりを大切にしたケアを提供できるよう心掛けています。

看護部の教育目的は、看護の実践に必要な知識、技術、態度の習得並びに看護内容の質向上と看護師個々の資質の向上

教育 ひとりひとりにあわせて、じっくり育てる国リハの教育プログラム



クリニカルラダーシステム

当院ではクリニカルラダーシステムを取り入れています。看護実践能力だけでなく、人間関係能力、リーダーシップ能力、看護探究能力など、フレッシュレベルからレベルIVまでの5段階のステップに分け、個々のキャリアの開発に努めています。

リハビリテーション看護の専門性を培う様々な研修

教育委員会が中心となり、研修を行っています。看護部主催の研修以外にも、看護協会主催の研修にも積極的に参加しています。また、国リハ全体で主催する多職種を対象とした研修や講演会、国リハの一部である学院や研究所といったセンター内の他部門と連携した研修会など、国リハならではの多様なプログラムがあります。

※看護体制 2交代制・一部3交代制を併用 ※看護提供方式 固定式チームナーシング継続受け持ち方式

国リハの看護部教育の特徴は、じっくりと丁寧に、ひとりひとりの歩み、ひとりひとりのやりたい気持ちを大切に育てること。プリセプターシップをとりながら、スタッフ全員で日々、丁寧にじっくり育てることを大切にしています。ベテランナースがたくさんいるからこそ安心して働ける、そんな風土も国リハの特徴のひとつです。



専門看護師、認定看護師への道

認定看護師教育課程を受講したいと希望するスタッフを院外への研修に派遣、受験準備を進めるなど、認定看護師教育課程での研修をバックアップ。認定看護管理者コースについても毎年スタッフを送り出しています。また、センター内の学院では脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程を開講しています。

看護教育・看護研究

日々の看護の中から生まれた疑問をもとにしたり、新しいケアの開発を目指したりしながら、看護研究に取り組んでいます。研究成果は、学会で発表したり論文を投稿したりしています。また、希望者には日本学術振興会科学研究費助成事業への応募の支援をしています。



●カンファレンス カンファレンスでは、患者様のケアについて話し合います。



●ポータブルスプリングバランサーでの食事介助・練習 上肢に障害を持つ方、肩が上がらない方でも、肘が曲がれば食事を摂ることができるよう支援します。

先輩からのメッセージ



◆ 新井 高子さん

感染管理認定看護師

院内のサーベイランスを行い、効果的な感染管理プログラムの構築に取り組んでいます。



◆ 山崎 暁子さん

育児休業後も明るい職場と先輩方の優しいフォローのおかげで楽しく仕事できています。院内に保育園があるので安心です。

周りの支えがあり、子育てしながらも働くことができます。



ママがそばにいるから安心!



WLBを考慮した勤務管理を行っています。また、再雇用や転職者を積極的に受け入れています。



◆ 遠岡 美由紀さん

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

高次脳機能障害のある方が安心して生活できるように、患者様本人、ご家族、多職種と一緒に考え、看護をしています。



◆ 小谷 律子さん

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

脳卒中の急性期病院での経験を経て、この病院で働いています。在宅に向けたケアをすすめていくことは、とてもやりがいがあります。



◆ 野田 みゆきさん

リハビリテーションの過程はその人らしさを取り戻す道のりでもあります。その道のりに看護師として携われることが、今のエネルギー源になっています。

リハビリテーションケア

●車いす患者のトランスファー介助



胸鎖部で受けた指導を日常生活の中で活かすよう支援します。毎日慣れで続ける事で、習熟度が押し自分で出来るようになります。

●リフターでの移乗介助



全介助が必要な患者様は、リフターを使用して移乗を介助します。患者様もスタッフも身体的な負担を少なくし、安全に移乗します。

●ロービジョンの方の歩行練習



ロービジョン (Low Vision) (何らかの原因により視覚に障害を受け「見えにくい」「まぶしい」「見える範囲が狭くて歩きにくい」など日常生活での不自由さをきたしている状態)の方が胸鎖部の指導を生かして安全に歩行できるよう支援します。

●外来健康教室



当院を利用される方々にご自身の健康に関心を持っていただき、共に健康に生きる知恵を学び合うことを通して、よりよい生活を送るお手伝いができたら...と考え、「健康教室」を開催しています。院内の専門職によるお話しストレッチ、フリートークによる意見・情報交換など、楽しく学んでいます。

※写真は撮影者です